

## 2017年 石油連盟 油流出ワークショップの概要

名 称：油流出ワークショップ

ナホトカ号事故から20年～油濁事故対応における進歩と新たな課題

日 程：平成29年2月2日（木）

場 所：経団連会館2階 経団連ホール  
東京都千代田区大手町1-3-2

開催の目的：

1997年1月2日、日本海において発生したナホトカ号事故は、我が国の油流出事故史上、最大の被害を近隣諸県の住民及び経済にもたらした。石油連盟は事故から20年を数える2017年、事故の記憶を新たにし、油濁事故への備えや対応体制の整備に関するこれまでの進歩と今後の課題について議論すべく、第5回油流出ワークショップを開催する。

今回のワークショップにおいては、事故当時の関係組織や、過去20年間でナホトカ号事故や類似の事例から得た教訓に基づいて対応体制の整備を進めてきた各組織による講演を予定している。関係組織が将来的な課題についてどのような考察を進めているか、また効果的な対応計画立案やその実行に際して業界を支援する手法をどのように改善してきたかといった話を伺いたい。さらに、過去に甚大な油濁事故を経験した国々の講師から、大規模事故における諸問題にどのように取り組んだか、そして、事故対応経験をどのように油濁対応体制の発展に活かしたかについて、将来的な課題も視野に入れた話を伺う予定である。

今回のワークショップには実際の事故対応経験者及び対応組織が参集する。本ワークショップがナホトカ号事故の発生した1997年からの進歩に関する知見を提供し、今後の油濁事故への準備に役立つことを期待する。

なお、講演終了後の総合質疑においては、ワークショップで提起された問題について聴講者の理解を深め、疑問を解決する機会の時間を設ける。

言 語：日本語、英語 同時通訳

主 催：石油連盟

事務局：石油連盟 基盤整備・油濁対策部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2

TEL：03-5218-2306

FAX：03-5218-2320

## 【プログラム】

※下記プログラムには変更の可能性もございます。

2月2日（木曜日）

- 09:40 開会挨拶 白木沢 隆広  
コスモ石油マーケティング株式会社  
常務取締役 広域販売部長
- 09:50 来賓挨拶 経済産業省
- 10:00 基調講演  
リチャード・ジョンソン  
国際タンカー船主汚染防止連盟（ITOPF）  
テクニカル・ディレクター
- 10:40 ダレン・ウォーターマン  
Oil Spill Response Limited（OSRL）  
アジア太平洋担当ディレクター
- 11:20 吉田 勝昭  
海上保安庁 警備救難部・環境防災課 防災対策官
- 12:00-13:30 ——昼食——  
  
経団連会館4階「ダイヤモンドルーム」において  
ビュッフェ形式の昼食をご用意しております。
- 13:30 リー・ワン・サブ  
韓国海洋環境管理公団（KOEM） 海洋汚染対応ディレクター
- 14:10 フレデリック・ハバート  
欧州海事安全機関（EMSA） 汚染対応サービス部門長
- 14:50-15:10 ——コーヒー・ブレイク——
- 15:10 ブライアン・サリバン  
国際石油産業環境保全連盟（IPIECA） 事務局長

15:50 後藤 真太郎  
立正大学 地球環境科学部・環境システム学科・教授

16:30 総合質疑

17:00 閉会挨拶  
吉村 宇一郎 石油連盟 常務理事

以上